

校是

独創・協創

—自分で創る・みんなと創る—

学校教育目標

自分の良さを生かし、ともに未来を創るひとの育成

私たちは、子ども一人ひとりが自分の良さに気付き、伸ばすこと、また、それを生かし、他者と力を合わせて、より良い未来を創る力を身に付けることを目標に、学校教育活動を計画し実践します。

力を合わせて、より良い未来を創る力を身に付けることができるようとする

- コミュニケーション能力を伸ばすために達成感や成就感のある多様な集団活動に取り組む
 - = チームで協力して目標に向かうプロジェクト型の活動
 - = 幼保小の架け橋プログラムと縦割り活動を連続させた取組
 - ・聞く力・話す力・質問スキル・言葉遣い・非言語による補完スキル・共感力・リーダーシップスキル
 - ・フォローアップスキル・折り合いをつける力

自覚（メタ認知）

できること、わかること、これからどんどんふえるんだ。

知識・技能

なるほど。そうか。
わかった、できた。

自己肯定感と有能感

ぼくならきっとできるはず。
わたしはきっとやれるはず。

学びことを楽しむ子ども

協同性

みんなと力を合わせたら、もっといいこと出来そうだ。

思考力・表現力

まとめておこう、表してみよう。
知らせてみよう。伝えてみよう。

学びに向かう力

おもしろいな。楽しいな。
もっと知りたい、やりたいな。

自分の良さに気付き、伸ばし、それを生かすことができるようとする

- 自己肯定感と有能感を高めることを意図した活動に取り組む
 - = 選択と自己決定、成功体験のふり返りの機会を意識した計画と指導
- 学びに向かう力を高める授業を実践し知識と技能の向上を図る
 - = 適切な課題や題材、工夫された学習材、安心できる環境と指導者的人間性、指導スキルが整った授業
- 思考力と表現力を高める探究型の学習活動を開拓する
 - = 目的意識から、課題設定、調査考察、まとめ、表現発信に至るプロセスがある学習

楽しい学びがある学校

- 明日も行きたい場所であること
- できること・わかることが増える学びがあること
- 安心安全であること

子どもに規範を示す教職員

- 自身が子どもの手本であるという自覚があること
- 子どもに求めるものを自身にも求めること

校是

独創・協創 ー自分で創る・みんなと創るー

校是として示される「独創・協創」は、新しい翔鸞小学校教育の拠り所になる考え方を表しています。「独創」は、一人ひとりの子どもたちが、自分に備わっている個の力を伸ばし、その力でより良い何かを創り出すことを意味します。「協創」は、仲間と協力することを通して、それぞれの力を高め合いながら、一人では叶わない、より良い何かを創り出すことを意味します。

「自分で創る・みんなと創る」、新しい翔鸞小学校では、この二つの「創」を大切にしながら、教育活動を実践します。

学校教育目標

自分の良さを生かし、ともに未来を創るひとの育成

校是「独創・協創」に則り、学校教育目標を設定しました。一人ひとりの子どもが、自分の良さ（今できること・可能性）に気付き、伸ばすこと、また、それを生かし、他者と力を合わせて、より良い何か（未来）を創る力を身に付けることを目指して、学校教育活動を計画し実践します。

めざす子ども像

学ぶことを楽しむ子ども

学校で実践される全ての教育活動、授業や数々の行事、そのひとつひとつには「学び」の機会があります。子どもたちが、「自分の良さを生かし、ともに未来を創るひと」になるためには、そのひとつひとつの「学び」の機会、教育活動を「やらされている」「仕方なくやる」ではなく、「楽しむ」ことができるようになることが大切だと考えます。そのために、2つの視点から活動を進めます。

●自分の良さに気付く・生かす・伸ばす

自分で決めたり、選んだりする機会を増やし、その上で、がんばったことが成果として感じられる、誰かの役に立ったと感じられるような活動を意図的に設定します。

●認め合う・力を合わせる

チームで協力して課題解決に向かうプロジェクト型の学習活動や幼保小の架け橋プログラムと異年齢集団の縦割り活動を連続させた取組を行います。

めざす学校像

楽しい学びがある学校

学校教育目標、また、めざす子ども像の実現のためには、子どもたちが安心して伸び伸びと過ごせる、楽しい学びがある学校が必要です。家庭や地域との連携を大切にしながら、安心安全な環境の中、一人ひとりにお気に入りの場所があり、わくわくする授業や行事を通して、できることやわかることが増えれる学校をめざします。

めざす教職員像

子どもに規範を示す教職員

教育活動を担う教職員は、自身が子どもの手本であり、規範を示す大人としての自覚が求められます。自らも学ぶことを楽しみ、子どもたちと共に進む教職員をめざしていきます。

新たな取組として

新しい学習のフィールドを生かした活動

校区が広がることに伴って、学習のフィールドが広がり、出会いや発見、そこから生まれる学びの機会も増えます。そこにある自然や歴史、文化や人材を生かした活動は、子どもたちの学びに、大きな可能性を与えてくれます。この新しい学習のフィールドを生かした活動を主に生活科や総合的な学習の時間で展開します。

架け橋プログラム

幼児期から児童期の発達を見通して、5歳児と小学1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育と小学校教育の関係者が連携してカリキュラム・教育方法の充実・改善にあたる「架け橋プログラム」について、連携園と協働しながら進めています。

ユニバーサルデザイン

学習環境や学習活動の支援については、ユニバーサルデザインの視点で捉え、すべての子どもたちが学ぶことを楽しみ、「わかる・できる」ことをめざして、計画、実践します。

家庭学習

家庭学習の充実を図り、子どもたちが、主体的に自学自習できるようになることをめざします。これまでの宿題から、自分で目標を持ち、課題設定をした家庭学習へ移行することをめざして、段階を踏みながら進めています。

つけたい資質・能力

自覚

できること、わかること、
これからどんどんふえるんだ。

協働性

みんなと力を合わせたら、
もっといいこと出来そうだ。

知識・技能

なるほど。そうか。
わかった、できた。

思考力・表現力

まとめておこう、表してみよう。
知らせてみよう。伝えてみよう。

自己肯定感と有能感

ぼくならきっとできるはず。
わたしはきっとやれるはず。

学びに向かう力

おもしろいな。楽しいな。
もっと知りたい、やりたいな。

